

仮称 菓子新駅関連事業の経緯



駅予定地の現地説明 / 16年9月

新駅計画を大幅変更に！

村当局から議会に対しての最初の説明は、13年9月の議員全員協議会であり、その内容は駅施設などの工事は、候補地により4億から8億の幅があること更には駅前広場・駐車場などの用地確保や家屋移転も少ない現候補地が好ましいとの説明でありました。

16年9月には新駅及び菓子駅まづくり事業の総額29億8000万円の事

業説明を受けましたが、その内容に疑問があり9月定例会で債務負担行為が否決されました。

その後11月に縮小した総額14億1700万円の事業説明を受け、12月定例会で可決されました。

一般質問では、前定例会までに8人の質問があり議論されてきました。



変更



これまでの一般質問(抜粋)

12年12月定例会

問 新駅設置の報道があるが場所は、また周辺整備で東部コミュニケーションセンターも考えては。

答 設置は決定したわけではなく可能性を県と相談している段階、今後地元と協議する。

13年12月定例会

問 新駅設置の検討結果、今後の予定、地元への説明は。

答 駅間のバランス、地理的条件、利便性、経済性の良さと同調しない結果となりました。17年度開業を目指したい。12月中に自治会役員等の方々との意見交換し、その結果を踏まえ年度内に全体説明会を開催したい。

15年12月定例会

問 新駅の事業費用・補助割合・利用予測。また出張所機能を移動した場合の影響は。

答 事業費は総額約14億円、約40%の補助、1400人の利用を見込んでいます。出張所を移動した場合は不便を感じますが、財政上支援を受けなければできない。規模・機能など住民との協議により進める。

16年3月定例会

問 財政難であり新駅設置を延期しては、また農地所有権の移転経過は。

答 最小の経費で整備したい。譲受人は農家でもあり許可相当とした。